

第104号
2022年9月

風

発行

群馬県生協連女性協議会
群馬県前橋市大友町1-13-12
学校生協会館3階

「風」はホームページでもご覧いただけます

<https://gunma-ccu.jp/>

Eメール: post@gunma-ccu.jp

7月13日(水) 女性協議会第29回定期総会記念企画

記念企画として、「学習講演」と「会員生協取組報告」を行いました

群馬県生協連女性協議会では、7月13日(水)に第29回定期総会の記念企画として、群馬県ぐんま男女共同参画センターを会場に、学習講演と会員生協の取組報告を、会場・オンライン併用で行いました。

冒頭に木樽会長より、先輩方が築いた歴史を守りつつ今の時代に合った活動の在り方を考えていきますという挨拶の後、来賓としてお越しいただいた、群馬県ぐんま男女共同参画センター 下山 裕子所長より、あいさつを頂戴いたしました。閉会では、藤原副会長からの、これからも女性協は関係機関と連携し時代とともに歩いていくという挨拶で終了としました。

機器のトラブル等があり運営には課題を残しましたが、学習講演、会員生協取組報告ともに参加者からは好評でした。

会場での参加は27名、オンラインでは19回線(約26名)の参加となりました。



オンラインのようす



会場のようす

記念企画のようすは群馬県生協連 HP(<https://gunma-ccu.jp/>)に、「第29回群馬県生協連 女性協議会定期総会記念企画を開催しました」と題して掲載しました。ベアテさんの学習講演で参照したHPのリンク集も掲載してありますので、参考にしてください。

第一部 学習講演「ベアテさんと日本国憲法第24条 ～没後10年に寄せて～」

講師 独立行政法人 国立女性教育会館 情報課専門職員 森 未知 氏



第二十四条
(1) 婚姻は、両性の合意のみに
基いて成立し
夫婦が同等の権利を
有することを基本として
相互の協力により
維持されなければならない

ベアテ・シロタ・ゴードンさんは、少女時代を日本で過ごし、アメリカへの留学を経て戦後GHQ民生局員として来日、憲法草案づくりに携わりました。日本国憲法第24条男女平等の原則などに、彼女の草案が活かされました。

国立女性教育会館は、ベアテさんの長女から寄贈された資料を所蔵しています。本年はベアテさん没後10年、彼女の功績と憲法24条の意義について、同会館の森さんからお話を伺いました。

第二部 会員生協事例報告 生協の“今”を知る「地域のために生協のできること」

コロナ禍の中にあっても、生協と地域のつながりづくりは、会員生協の実践により進められています。今回は3会員生協から、生協の“今”の事例報告を聞きました。

■■■ 生活協同組合パルシステム群馬（報告者：光山さん、田代さん） ■■■

一人の総代さんの意見からスタートした中高校生徒への「SDGs出前授業」について報告がされました。クイズを取り入れたわかりやすい内容で、2019年から2021年度の3年間で、7校1260名（延べ）を対象に実施しています。

■■■■■ 生活協同組合コープぐんま（報告者：田中さん） ■■■■■

千代田町、板倉町より、世帯減少と住民の高齢化の問題、「買物困窮者」についてお話があり、地域へのお役立ちのために、2021年度から移動販売車による「移動店舗」を始めました。月～金曜日の週5日、44 停留所を巡回しています。

■■■■■ 利根保健生活協同組合（報告者：堀口さん） ■■■■■

小中学校生徒への「保健講話・手洗教室」について報告がされました。2021年度、保健講話は小中高生の他、子供発達支援センターを対象に23回、手洗い教室は、小学校を中心に学童や老人クラブも含め16回の開催となりました。

参加団体からの感想

第一部 学習講演の感想

■国立女性教育会館の森さんからベアテ・シロタ・ゴードンさんの功績についてお話を伺う。ベアテさんは少女時代を日本で過ごし、アメリカへの留学を経て戦後GHQ民生委員として来日、憲法づくりに携わる。70年以上前の保守的な日本に於いて、憲法24条男女平等の原則に女性の権利を草案に入れたベアテさん…素晴らしい。

（生活クラブ 倉俣裕子）

■ベアテ・シロタ・ゴードンさんは1946年日本国憲法制定に関わった人です。少女時代日本で過ごし5か国語習得。22歳でGHQの民生職員として日本国憲法第24条（家族生活における個人の尊厳と両性の平等）に、彼女の草案が活かされた。図書館に出かけて各国の憲法を参考に日本女性のために草案。日本側に任せては民主的なものがないからとGHQが関わった話には苦笑してしまった。国立女性教育会館はベアテさんの長女から寄贈された資料を所蔵しているので、会館に出向くのも良いかと森氏が話された。

（群馬中央医療生協 秋山ユミ子）

第二部 会員生協取組報告

■パルシステム群馬、コープぐんま、利根保健生協からの報告でしたが、それぞれとても有意義で地域とともにある活動報告でした。

パルシステム群馬さんの中高生へのSDGs出前授業では若い方たちへの意識改革。コープぐんまさんの『移動店舗』は買い物困難者への支援ですが、現状では持続可能な黒字運営にはなっていないようで、行政と地域、生協三位一体となるように頑張っているようです。

利根保健生協の小中学校生徒への「保健講話」は2014年9月から始まったようで、2021年は23回開催、「手洗い教室」は2017年より始まり2021年は16回開催され、学童や老人クラブでも開催されたそうです。身近な方々に健康や保健について考えてもらう良い機会だと思います。私どもの生協も見習い、頑張っていきたいと思います。

（群馬中央医療生協 瀧澤佳津子）

■『パルシステム群馬』さんのお話を聞いて、「出前講座のコツ」を学ばせていただきました。「こうしなさい」と押し付けるのではなく、正しい情報を伝え目標を示すこと。途中眠くならないようにクイズを取り入れ、さらにそのクイズも目で見てイメージしやすいように工夫されていること等、とても参考になりました。

『コープぐんま』さんのお話を聞いて、年を取って運転ができなくなったら買い物はどうしようと、他人ごとではありません。移動店舗が食材の提供だけではなく、コミュニケーションの場、地域ふれあいの場に貢献できるとあれば、ぜひこの買い物支援を進めていただきたいと個人的にも思いました。

『利根保健生活協同組合』さんのお話を聞いて、何台ものパソコンを駆使するなどの工夫をして「途中飽きることなく、心に残る講話」を心がけていらっしゃることに感動しました。つながりがつながりと呼んで活動が広がっているご様子、素晴らしいと思いました。

(生活クラブ群馬 太田陽子)

参加者の感想 (アンケートから抜粋)

第一部 学習講演の感想

■日本国憲法を作るために大変なご尽力をいただいたアメリカ人女性ベアテさんの生き方に大変感銘を受けました。日本人である私たち女性の活動が女性の人権とともにジェンダー平等社会づくりに励んでいきたいと心新たにしました。

■戦後70年以上前から男女平等の原則の憲法に取り組みされているベアテさんの願いや想いが現在も続いていると思いました。ベアテさんのエネルギーに感銘を受けました。

■直近の選挙で改憲の流れについてショックを受けていたので今日の講演を聞いて女性としてやはり今の憲法を守りたいという気持ちが強くなりました。

第二部 会員生協取組報告の感想

パルシステム群馬 (SDGs 出前授業)

■子どもたちにわかりやすく教えていることは素晴らしいことだと思います。子供から親に伝わればSDGs17が進んでいくのではと思いました。

■とても素晴らしい取り組みをされていると思います。SDGsと聞くけどよくわからない子も多いと思うので、身近なところからわかりやすく伝えていけるのは本当に良いと思います。数のスライドなどは大人でもなるほどと思いました。子供にも非常にわかりやすいです。

コープぐんま (移動店舗)

■損益上赤字で厳しいということですが、高齢者に優しい社会を目指すとなれば、やはり行政がもう少し考てくれれば良いと思いました。とても良いことをしているのに赤字では厳しいなど、自分のこととして考えてほしいと、思いやりを持ってほしいと思いながら聞いていました。

■地域の方の声から始まった移動店舗。コロナ禍ということで大変なこともあるということが伝わってきました。地域ごとに買い物に困っていらっしゃる方の声を聞きながら広まるとよいと思いました。

利根保健生協 (保健講話・手洗教室)

■保健講話など子供たちが生きていくのに大切なことを深く学べているのではと思い、とても良い取り組みだと思いました。手洗い教室を始められたのがこの今の状況を予測したかのようなタイミングでさらに広まることを期待しています。

■高校生の性感染症について対面では聞けないことをオンラインで、しかも匿名で聞けるなんてとても良い講話ですね。たくさんの学校での開催ありがとうございます。

2022年度新任運営委員からのあいさつ

今年度から女性協会長を務めます。どうぞ宜しくお願い致します。

女性協議会は結成から29年目となりました。結成当時からは社会全体が目まぐるしく変化し、女性を取り巻く環境も少しずつですが変化してきました。ならば、女性協議会も変化の時ではないかと思うのです。女性ばかりに焦点を当てるのではなく、男性にも焦点を当てこれからの男女共同参画のあり方について考えていく必要があります。30年目に向けて女性協議会に新しい風を吹き込めるよう務めていく所存です。

コープぐんま 木樽 千恵子

昭和にはない家庭の形態が変化していく中で先人たちが苦勞重ねて作成されたであろう憲法24条について読み返してみました。「男女共同参画」「ジェンダー」もこの憲法に守られ支えられ「人」として尊厳され男女平等に扱われるのだといえる。しかし、地域社会では〇〇長のつく役職には男性が多い。婚姻後は男性の籍に入ることも多い。新米の運営委員の一人として、他生協の方々と交流・学習し、知識を深め女性協の活動を地域に広めていければと思います。

北毛保健生協 木暮 洋子

女性協議会の活動について、よくわからないことが多かったため昨年一年間オブザーバーとして運営委員会や活動に参加させていただきました。女性のための活動などなんとなく様子がわかってきたところです。

今年は晴れて運営委員になりましたので、自分の行動できる範囲で皆様と一緒に活動できればよいと考えています。いろいろな方と交流をしながら知見を得たら、自分も成長出来るのではと思っています。今年度の運営委員の皆様どうぞよろしくお願い致します。

はるな生協 金屋 智美

今年度より運営委員としてお世話になります。「風」の創刊号に群馬県生協連女性協議会の願いの込められたことが載せられていました。「私たちは 台所のことだけでなく」という書き出しが印象的です。日々のくらしが守られ、それぞれの生き方が尊重され、ひとりひとりが大切にされる温かい、優しい社会であるために、台所から初めの一步を踏み出し、視野を広げ前向きに活動していきたいと思います。他生協の方々と学び交流し、ともに手を取り合い、群馬の女性協から発信し風に乗せ広げていきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

コープぐんま 野原 多香子

30年前に入職したときは、「群馬県労生協」という名称でしたのでなじみのある組合員さんからは、今でも「労生協の羽鳥さん」と呼ばれる事もあります。

私達こくみん共済coopは、『みんなで助け合い、豊かで安心できる社会づくり』この理念を基本に保障の生協として活動を展開しています。

生活協同組合で働いているにもかかわらず、この間、各会員生協の皆様と関わる機会があまりありませんでしたので皆様と共に活動を行えることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願い致します。

こくみん共済coop<全労済> 羽鳥 雅世